

# 東みよし町 事務事業評価シート

評価年度	令和2年度	事業年度	令和元年度
------	-------	------	-------

## 1 事務事業の概要

事務事業名	動物愛護に関する事業		整理番号	1010-003
前総合計画体系	政策	第1章 快適で安全な東みよし	担当部署	環境課
	基本施策	1 環境保全の総合的推進	所属長	大道 義輝
	単位施策	(4) 町民主体の環境保全活動の促進	電話番号	79-5340
根拠法令等	徳島県動物の愛護及び管理に関する条例			
事業実施方法区分	<input checked="" type="checkbox"/> 町直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金等			
事業継続年数	事業開始年度	不明	<input type="checkbox"/> 5年以内 <input type="checkbox"/> 6年～10年 <input type="checkbox"/> 11年～20年 <input checked="" type="checkbox"/> 21年以上	

## 2 事務事業の目的・内容・成果

事務事業の対象 具体的に誰(なに)を	町内に所在する犬及び猫、その他の愛護動物の飼育者	対象者	同左
事務事業の目的 どのような状態にしたいのか			
事務事業の内容 どのような方法・手段で 事務事業を行ったか	<p>①犬の飼育に関する苦情(放し飼い等)の処理、具体的にはその対象者への相談・指導。                  ②犬の散歩に関するモラル向上のための啓発(看板の設置・告知端末の利用等による周知)。                  ③猫害(糞・鳴き声・ゴミ荒らし等)の苦情・相談受付。                  ※ 猫に関する苦情で捕獲依頼が寄せられているが、平成26年度より猫の捕獲及び捕獲用の檻の貸し出しは行っていない。怪我をしている場合は一時的に保護する。                  ④その他動物関係(有害鳥獣の除く)等の苦情・相談受付。</p>		
事務事業の成果 結果・実績はどうか	<p>・令和元年度動物苦情対応実数13回(犬13件 ※死獣の処理は除く)。                  ・令和元年度告知端末で2回(10月、1月)、広報誌で1回(9月号)動物に関するマナー啓発等を行った。犬については、散歩時の糞等の始末、放し飼いをしないように周知。猫については野良猫への餌やりをしない。飼い猫は室内で飼育するように周知。                  ・広報等での周知に多少の効果はあると思われるが、時限的なものであり再び同様の苦情が寄せられた。</p>		
特記事項	犬の場合は狂犬病予防法の観点から、町での保護、保健所での積極的な捕獲ができるが、猫やその他動物の場合は捕獲・保護義務が無いために対応しかねるケースがある。		

## 3 事業費の推移と評価対象年度経費

	平成30年度	令和元年度(評価対象年度)	令和2年度(見込)
事業費【(a)～(e)の合計】	29,808 <small>うち繰越分↓ 0</small>	29,808 <small>うち繰越分↓ 0</small>	50,000 <small>うち繰越分↓ 0</small>
財源内訳	国庫支出金(a)		
	県支出金(b)		
	地方債(c)		
	その他(d)		
	うち受益者負担		
	一般財源(e)	29,808 <small>うち繰越分↓</small>	29,808 <small>うち繰越分↓</small>
特定財源の名称・金額			
令和元年度 経費の内訳 事務事業に係る経費の詳細	予算科目(歳出区分) 会計 1 一般会計 款 4 衛生費 項 1 保険衛生費 目 6 狂犬病予防費 消耗品費 29,808円		
備考			